

先日、中学生の娘と音楽番組を観ていると、エヴァンゲリオンの主題歌「残酷な天使のテーゼ」の紹介がありました。

「ねえ、ねえ、『テーゼ』ってどういう意味なんだろうね？」

と、私が娘に問いかけると、

「う～ん・・・。ちょっと待ってて！私もわからないから」

そう言うと、娘は辞書で意味を調べて、私に教えてくれました。

そういえば、娘がまだ小さかった頃のこと。

「ねえ、お母さん、空はどうして青いの？」

「ねえ、お母さん、へびってどこからがしっぽなの？」

そんな疑問で頭がいっぱいだった娘の姿を、ふと思い出しました。

家にいても、出かけた先々でも、「どうして？」の質問攻めをしてくる娘に、私はほとんど困っていました。小さな子どもの質問とはいえ、すぐには答えられないものばかりでした。

さて、みなさんなら、こうした子どもの疑問に何と答えるでしょうか？

心理セラピストである星一郎（ほし いちろう）氏によると、こうした場面に遭遇したお母さんの反応には、2つのタイプがあるとのこと。

1つは、子どもの疑問をシャットアウトしてしまうタイプ。

「うるさいわねえ。そんなつまらないこと聞かないの！」

こうなると、子どもは二度とこうした同じ質問をしなくなるし、疑問そのものを持たなくなるといいます。

もう1つは、なんとか答えなければならぬと考えてしまうタイプ。

「え～と、あれはねえ・・・」と、しどろもどろになりながら一生懸命に説明しようとしませんが、結局子どもは、お母さんに聞いてもしょうがないと思って何も聞かなくなり、対話のチャンスを逃してしまうといいます。

ではどうしたらいいのか？

それは、シャットアウトすることでも、答えようと必死になることでもないそうです。

「どうしてかしらね？」

「お母さんも分からなかったなあ。一緒に調べてみようか」
などと、子どもの疑問に同調しつつも、いいところに目をつけたことを尊重してあげることが大切なのだと思います。

あの頃、娘の質問に答えることができなかった私は、とにかく「(その質問) すごいなあ！」とほめ、「(お母さんも) わからない」と正直に言い、「(お母さんと) 一緒に調べようか」と逃げずに向き合ってきました。確かにいちいち面倒ではありましたが、それを繰り返しているうちに、娘は自分で調べる方法を身につけてくれたのだなと感じています。

ちなみに、「テーゼ」とは、「方針」という意味でした。
今は、逆に私の疑問に、娘が付き合ってくれています。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく願います(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索